

今日の説教のポイント<ヨハネによる福音書 20 章 1～18 節>

①ヨセフ、ニコデモ、マグダラのマリア、そして私たち。

ここを読むと、いつも思うことがあります。イエス様は死んでしまわれたのに、その墓に行かずにはおれなかったマグダラのマリアのことです。イエス様が復活されることを知っていたからこうしたのではありません。生前のイエス様の言動に敬服させられたから、このような行動に出たのです。死んだイエス様のために墓を用意したヨセフや、香油を持って来たニコデモも同じです(9:38～42)。そして、そのことはイエス様の復活を信じることへとつながって行きました。私たちも、聖書を通して、イエス様が生前になされた言動を学びます。そして、そのイエス様が十字架の上で亡くなられた理由と三日目に復活される意味を知らされ、彼らと同じように復活の主を受け入れる者とされて行くのです。神様の深い御旨とそのやり方に感嘆！

②絶望の淵に立つ時は、神様の希望の戸口に置かれている時！

マグダラのマリアが同じ場所で振り向いた時に起こったことに注目です。彼女は「墓の中を見ると」イエス様の遺体はなく、天使から「なぜ泣いているのか」と言われます(11-13)。泣いているのはもちろん、イエス様が死んでしまった上に、その遺体まで誰かに持って行かれたと思ったからです。しかし、「後ろ(墓の外)を振り向くと」(14)イエス様がおられました(13-15)。そうです、そもそも、泣くような状況ではなかったのです。イエス様は復活されていたからです！ この時はマリアにとって、「中を見ると絶望、外を見ると希望」の時でした。しかし本当はマリアだけではありません。復活されたイエス様を知っているかどうかで、全ての人の人生が、絶望か希望か、大きく変わって来るのです！ 私たちが絶望の淵に立つ時は、神様の希望の戸口に置かれている時でもあるのです。そこでどちらを見るか、大事です。

③現象を見る中で、その意味を探り、そしてたどり着く新しい発見！

ピエール・キュリーのノーベル賞受賞講演。それは、不思議な現象を追求して行く中で、それまで人類が考えつかなかった膨大なエネルギーを物質そのものが持つことの発見(核エネルギー)の話。キリストの不思議な現象。それを追求して行く時、そこに待つのは、私たちの思いを越えた、神様の破格の愛の発見、幸いな神のエネルギー！